

第22号
平成29年3月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会長 飯田 淳二

題字 木村信也氏 (南北野)



平成28年度を振り返り

北野地区町内会連合会
会長 飯田 淳二

北野地区町内会の皆様には平成29年の新年をお迎えし、お健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。北野町連便りの発刊も今回で第22号になって皆様にお届け致します。此の町連だよりが皆様のお宅でお読み頂く頃は、庭の木々もいきいきと映え、待ち遠しい春が身近に感じる頃と思います。

ここで、町連の役員の方々の近況をお知らせ致します。昨年町連に入られた財務担当の副会長も皆様のご指導の中で1年間の業務をしっかりと進めて参りました。又交通安全対策部長はこの1年間を勉強の年として活動し、新年には北野における交通事故皆無を目標に毎日の活動に余念がありません。こうして役員一同頑張り、町連の事業が1年間を通してつつがなく運営出来たのも会員皆様のご協力のおかげと感謝を申し上げます。

一緒に歩んできました17町内会・自治会の会長様におかれましては誠に残念ですが平成29年度にむけて幾人かの交代があると聞いております。今後ともお力添えをお願い致します。

現在、北野地区における高齢者は30%を超え、併せて70歳以上のお一人暮らしの方が600人と高齢化が進んでおります。

日頃、町内活動として行っております見まもり活動は、地域の皆様が安全・安心して暮らせる要因につながるものと考えております。北野地区町連も福祉のまち推進センターを中心として、ご高齢の方々を始め、より一層の福祉活動の推進事業を進め、喜ばれる街づくりを目指してまいりますので、今後とも各町内会、自治会皆様のご理解ご協力をお願い致します。

さて、私ごとではありますが皆様にご報告と御礼を申し上げます。

平成28年11月21日札幌市より28年度の札幌市自治振興功労者としての表彰を受けました。私の北野に於ける活動は平成8年北野すみれ町内会会長の10年間、民生児童委員の12年間、平成22年からの北野地区町内会連合会副会長、北野地区町内会連合会会長、北野地区社会福祉協議会会長として努めてまいりましたが、此の総てが皆様のご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

自分をかえり見た時、80歳を過ぎた私も高齢者の一人になっており、あと与えられた業務を通し一生懸命努力を致して行きますが、今後ともご指導を頂きながら北野地区町内会、北野地区社会福祉協議会の発展を忘れず進んでまいります。

第22号北野町連だよりの発刊に併せ、平成29年度も皆様のご協力を重ねてお願い申し上げご挨拶と致します。

清田区全域での交通安全街頭啓発ですが、寒い中北野地区から98名参加いただきました。
(交通安全対策部)



11月13日 冬の交通安全街頭啓発

吉田川公園で45名の子供がチューブすべりや宝さがしなどで楽しみました。
(青少年育成部)



2月12日 雪と遊ぼう

子供7チーム21名、大人1チームで百人一首を楽しみました。
子供達の素早い反応には大人もタジタジです。
(青少年育成部)



1月14日 新春子どもカルタ大会

北野中、北野台中学校の皆さんにお手伝いいただき、今年452名の方に配食させていただきました。
(女性部)



3月25日 お一人暮らし高齢者お弁当配食

福祉のまち推進センターだより

今、3月11日午後2時46分が過ぎました。6年前東日本大震災が起きた時刻です。あの日あの時、皆様は何をしておられましたか。

私は、建てかえ前の古い連合会館の福祉のまち推進センターで、「町連だより」の編集にあたっていました。今日は、震災についてのテレビ報道番組を見ながらこの文章を書いています。札幌市は、災害の少ない街だといわれていますが、決して油断は出来ません。

地震災害で心配なのは、月寒断層にずれが生じた時です。大きな地震が想定されます。大雨で厚別川が氾濫し洪水になったとき、どこに避難するのか、誰と避難所へ行くのか、何を持って行けばいいのか、ペットはどうするのか、いつも家族で話したり、ご近所の皆様とも話し合っておくことはとても大切なことです。また町内会や自治会で開催される防災訓練や避難訓練には、進んで参加されることをおすすめします。

昨年度の北野地区福祉のまち推進センターの事業の一つに「災害時、一人の犠牲者も出さない」福祉のまちづくりがありました。

札幌市の災害時要配慮者名簿に登録されている方の中で、「私は災害時に地域の皆様に手を借りながら避難したい」と手を上げられた約180名の方々と「支援するよ（助けるよ）」と申し出てくださった方との組み合わせがつけられました。

今年度の「福祉まつり」では、札幌市社会福祉協議会障がい者講師の会から、重度の障がいを持たれたお二人に来ていただき、地域の中で目に障がいを持ちながら暮らしていく困難さや、災害時の不安について語っていただきました。講師の方の車椅子は

健康チェックコーナーは、皆さんの関心が高く100名以上の方が訪れていました
(福祉まつり)



オープニングセレモニーとして星さん、五十嵐さんが美しい二胡をかなで、心を癒していただきました。
(福祉まつり)



特別注文で作られており、持ち上げるのに4人の支援がほしいと語られました。障がいには一人一人部位に違いがあり、これにどう対応していくかも今後の福まちの課題の1つだと思います。

平成28年度に計画された「認知症を知る」の事業はほぼ達成されました。今後も認知症については、さまざまな角度から学んでいきたいと思っています。来年度も福祉のまち推進センターの活動にご協力をお願いします。

第28回北野地区 青少年音楽のひろば

「第28回北野地区青少年音楽のひろば」が平成28年12月3日(土)北野平小学校で開催されました。

体育館には高橋清田区長始めご来賓、父兄一般の方で一杯となり学生のすばらしい発表に、会場からはわんぱかりの拍手が送られ、改めて音楽のすばらしさを感じとっておりました。

最後は全員で「赤とんぼ」「ふるさと」を合唱し、終了致しました。

発表内容(順不同)

- 北野小学校：竹太鼓
- 北野台小学校：カスタット、太鼓
- 北野少年少女合唱団：合唱
- 北野平小学校：器楽合奏、ゴスペラ
：金属バンド
- 北野中学校：吹奏楽
- 北野台中学校：合唱
- 清田高等学校：吹奏楽



前夜からの雨で開催が心配されましたが、85名の参加の下、無事に決行出来ました。今回は「ぶた汁」が出ず少し残念。(体育部)



第19回清田地区対抗壮年野球大会決勝で清田中央地区と対戦、見事2連覇を達成しました。お疲れ様でした。(体育部)



今回は24名で駒岡清掃工場、ホクリョウ卵工場を見学、卵の手土産をいただき皆さんちよつと笑顔です。(女性部)



特集 自然災害を今一度考えよう！ 災害被害を最小限に

**災害は
完全には防げない**

**減災には
地域の協力が必要**

地震災害

自助…一番大切なのは「自分の命は自分で守る」

という一人一人の防災の取り組みです。

共助…被災を少なくする為には「地域ぐるみの協力体制」が必要であり、その為には「自主防災組織」の存在が必要です。

地震発生時の行動（まず身の安全確保です）

①転倒する物、落下する物、移動する物から離れる。「家具は必ず倒れる物」と考える。

②ヘルメット、座布団、かばん等で頭を守る
揺れが治まってからの行動

①火の始末、②家族の安否確認、③ガスの元栓、電気ブレーカの切断、④避難経路の確保、⑤外出家族との連絡法、⑥近所の安全確保（負傷者、要援護者の確認、手助け）

災害時は正しい情報を入手する

①緊急地震速報、テレビ、ラジオなどで正しい情報に基づいた行動をとる。

※ホイッスル（笛）、懐中電灯、スリッパなどは寝室など手元に置いておく。



洪水・土砂災害

大雨警報…大雨が原因となって浸水災害や土砂災害など恐れのある場合の警報

①避難準備情報

要援護者、避難行動に時間を要する人の避難行動開始

②避難勧告

通常に避難行動の出来る人が避難行動開始

③避難指示

未だ避難していない人は直ちに避難行動に移る。

※大雨で増水している時、河川や用水路に近づかない

※避難する時は可能な限り複数人で

※浸水している時は棒で地面の安全を確認



平成28年11月、北野地区防災研究会を 町内会連合会と17単位町内会・自治会で立ち上げました。

研究会にはNPO法人環境防災研究機構(CeMI)の協力をいただきました。

第1回北野防災ワークショップ 平成28年11月
平成26年9月11日の豪雨を振り返り

①災害発生時どのように動くのか、注意するのか
②行動を起こす中の問題、課題を広く発見
5グループに分けて討論（42名参加）

第2回北野防災ワークショップ 平成28年12月
町内会住民で作る手作りハザードマップ

①自然災害を予測し、生活実態に合う災害予測図
②地図上に病院・薬局、コンビニ、防災資機材保管場所、AED設置箇所、避難所、避難経路を記入

各地域毎の5グループに分ける（46名参加）

第1回防災講演会「北野防災住民の集い」平成29年2月
北野区民センターにて「大規模地震、豪雨災害に備えるまちづくり」「自主防災活動の取り組み」「災害に備える減災の地域連携」の講演会、討論会を160名参加の下行ないました。



青色回転灯防犯パトロール

平成28年10月より単町会長さん3名のご協力により、車両4台、パトロール隊員5名の体制で地域の防犯パトロールに取り組んでいます。

これまでは車両の左右ドアに「パトロール隊」のマグネットシートを設置していましたが、車両の前・後方からも視認できるようにマグネットシートを設置しました。また、万が一のパトロール中の事故に備え、ドライブレコーダーを全てのパトロール車両に設置したところ。

安全で安心な北野地区を実現するため、引き続き防犯活動の強化に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



受賞おめでとうございます

飯田 淳二会長(平成 28年 11月 21日)

札幌市自治振興功労者表彰

飯田会長の町内会長、社会福祉協議会理事、民生委員児童委員協議会会長、共同募金委員会理事、町内会連合会会長など21年間の地域発展寄与に秋元市長より表彰を受けました。



北野中央自治会様(平成 29年 1月 25日) (会長岡本 諒様)

札幌市防災表彰

「自主防災活動」「自主防災組織図」「自治会住居図(防災マップ)」を基に、災害発生時などの対応や心得を実践できるよう、日ごろより、自治会会員の防災意識の向上に寄与されています。



平山 加代様(平成28年11月4日)(北野地区交通安全母の会会長)

札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰

地域の交通安全運動のリーダーとして、各種交通安全行事に率先して従事されるとともに、児童、高齢者の事故防止など、地域住民の交通安全思想の普及・高揚に多大なご貢献をいただきました。



北野第二団地自治会様(平成29年3月15日)(会長 菅 勝様)

札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰

平成17年に設立され、児童の下校時に「おかえり」と声かけする見守り活動に取り組まれるなど、地域の安全で安心なまちづくりに多大なご貢献をいただきました。



長山 定男様(平成 28年 9月 1日)

北海道社会貢献賞(青少年健全育成功労者)

昭和63年に北野地区の青少年育成委員に就任され、数多くの事業を企画・運営されるなど、地域の青少年の健全育成と環境づくりに多大なご貢献をいただきました。



北野地区子ども神輿運営委員会様(平成28年11月25日)(会長 中前 邦弘様)

札幌市民憲章実践者表彰

26年間にわたり、子ども神輿渡御を実施され、地域の伝統文化の次世代への継承や、子ども達の健全育成、郷土意識の醸成などに多大なご貢献をいただきました。



佐藤 豊子様(平成 28年 11月 12日)

札幌市青少年育成者表彰

平成17年に北野地区の青少年育成委員に就任され、地域の伝統・文化の継承にも積極的に活動されるなど、地域の青少年の健全な育成に多大なご貢献をいただきました。



高井登美子様(平成28年11月25日)(第二団地自治会)

札幌市民憲章実践者表彰

地域の憩いの場である北野親水公園をはじめ、厚別川左岸河川敷の清掃活動に10年間にわたり取り組まれ、地域の環境美化活動に多大なご貢献をいただきました。

